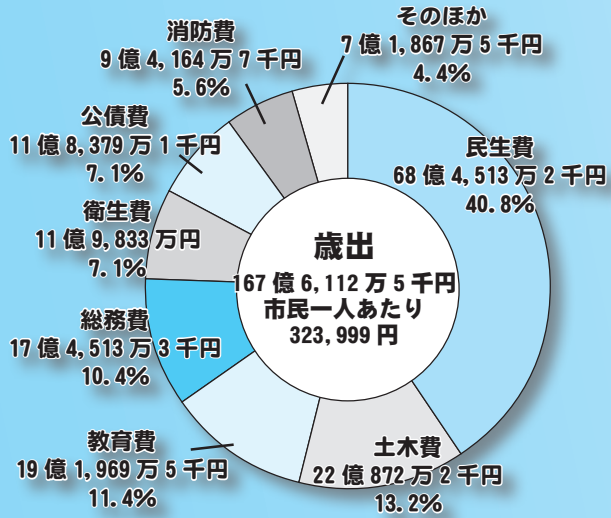


一般会計の主な事業と決算額(歳出)

民生費(福祉に関する経費)	教育費(教育に関する経費)	衛生費(保健・ごみ処理に関する経費)
生活保護費の支給 10億7,993万円	小学校の大規模改修 2億8,357万円	杉戸町ごみ処理負担金 2億6,752万円
障がい者の自立支援 8億5,318万円	アスカル幸手の運営 9,617万円	家庭ごみの収集 1億5,898万円
第二保育所の建設 4億499万円	学校給食費補助金の支給 2,250万円	各種予防接種の実施 1億186万円
臨時福祉給付金の支給 1億2,278万円		消防費(消防、救急、防災などに関する経費)
土木費(道路などに関する経費)	総務費(市民との協働や選挙の実施などに関する経費)	埼玉東部消防組合への負担金 8億4,903万円
幸手駅橋上化及び自由通路整備工事の負担金 1億9,560万円	防犯灯やガードレール等の整備 1,755万円	災害、防災対策 5,173万円
古川橋の架替工事 1億5,684万円	衆議院議員選挙の実施 1,544万円	そのほか(市債の償還などに関する経費)
公園遊具の更新 1,543万円	街路灯設置事業補助金の支給 856万円	市債の償還(借入金返済) 11億8,379万円
		基金への積立(貯金) 1億6,886万円

市が使ったお金 167億6,112万5千円



▼歳出は対前年度比0.7%の減少
民生費が第二保育所の建設や臨時福祉給付金の支給により、教育費が行幸小学校校舎の大規模改修工事などにより増加しました。
しかしながら、土木費における幸手駅橋上化および自由通路整備工事負担金の減少、諸支出金における基金積立金の減少などにより、歳出全体としてはわずかに減少となりました。

詳細については、「決算書」、「主要施策成果表」をご覧ください。
市ホームページ (<https://www.city.satte.lg.jp/>) のほか、市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館(本館および香日向分館)で公開しています。

1人あたりの市税負担額は？
123,592円(A)

1人あたりに使ったお金は？
323,999円(B)

内訳は	民生費に	132,319円
	土木費に	42,696円
	教育費に	37,109円
	その他	111,875円

①と②の差額
200,407円は？

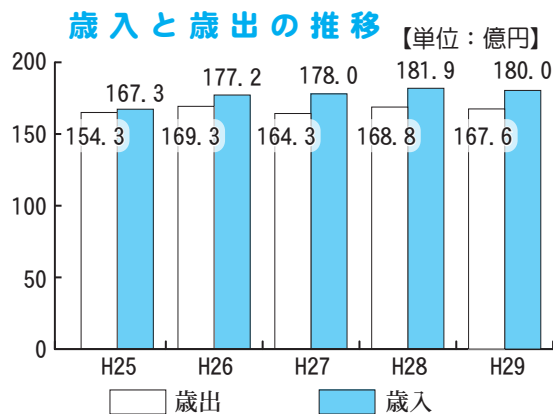
国・県支出金、使用料、市債などで賄っています。

平成30年3月31日現在
人口51,732人

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	79億2,673万3千円	74億3,126万1千円
後期高齢者医療	5億5,814万8千円	5億5,454万3千円
介護保険	37億5,047万3千円	34億2,037万5千円
農業集排水事業	3,040万8千円	2,863万円
公共下水道事業	12億4,266万2千円	11億6,799万1千円
幸手駅西口土地区画整理事業	9億2,842万4千円	8億6,389万3千円
水道事業会計	収入	支出
収益的収支	11億6,634万5千円	10億1,760万4千円
資本的収支	6,579万2千円	3億3,704万9千円

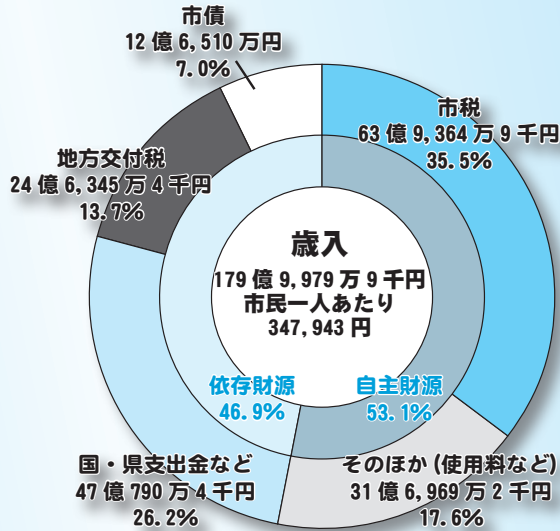
※資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部に留保された資金(内部留保資金)により補てんしました。



一般会計決算

平成29年度一般会計決算は、歳入が179億9,979万9千円、歳出が167億6,112万5千円で、単純な差引き(形式収支)は12億3,867万4千円となりました。
このうち、平成30年度に行う事業に充てられる繰越金4億1,327万円を除いた決算剰余金(実質収支)は8億2,540万4千円となりました。

市に入ったお金 179億9,979万9千円

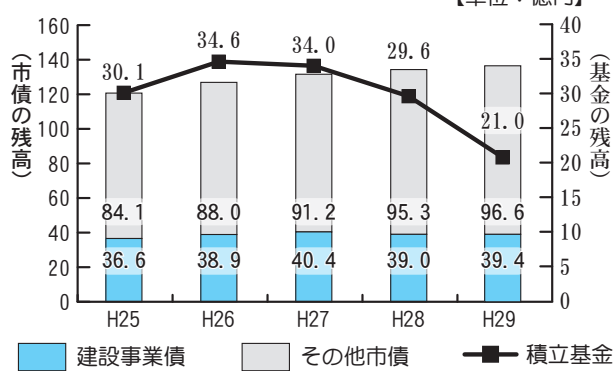


▼歳入は対前年度比1.0%の減少
市税(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)は、歳入全体の約35.5%と大きな比率を占める大切な財源となっています。個人市民税や市たばこ税の減少がありましたが、法人市民税や都市計画税が増加したため、市税全体としては増加しました。また、株式等譲渡所得割交付金や自動車取得税交付金が増加した一方、国庫支出金や地方交付税などが減少したため歳入全体としては減少しました。

財政健全化判断比率 ～すべて基準を下回っています～		
財政健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するもので、それぞれ判断基準である早期健全化基準(〔 〕で表示しています。)などが設けられています。早期健全化基準を上回ると早期健全化団体と位置づけられます。		
実質赤字比率	一般会計の収入に対する赤字の程度を表します。	該当なし [13.30%]
連結実質赤字比率	市の全部の会計を合算した場合の赤字の程度を表します。	該当なし [18.30%]
実質公債費比率	市債の返済額などの程度を表します。	3.6% [25.00%]
将来負担比率	今後、返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表します。	27.80% [350.00%]

▼都市計画税の使い道
都市計画税は、市街化区域内の土地や家屋に課税されるもので、主に下水道事業や幸手駅西口土地区画整理事業に充てられています。引き続き、大切に使用させていただきます。

一般会計の市債・基金残高の推移



▼市債と基金残高の推移
市は、建設事業に係る市債(借入金)の発行を抑制しています。本格的に実施段階に入った大規模事業(幸手駅橋上化および幸手駅西口の整備、道路や橋などの老朽化対策など)の工事に係る費用は、市債の発行のほか、基金を取り崩し賄いました。

問合せ 一般会計・特別会計について/財政課 ☎(43)1111 内線252・FAX(43)3783
水道事業会計について/水道管理課 ☎(48)0050・FAX(48)0120

平成29年度の決算が9月定例会市議会で認定されました。
ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入をどのように使ったのかをお知らせします。

平成29年度決算